

第2学年B組 生活科学習指導案

授業者 嶋崎 裕子
研究協力者 中野 良樹
教材分析協力者 長瀬 達也

1 単元名 めざせ！野菜名人

2 子どもと単元

(1) 子どもについて

1年生では、単元「きれいにさいてね」でアサガオや様々な花を育てる活動をしている。長期間にわたり花を育てる活動を通し、花が咲いたときのうれしさや命の大切さについて考える経験をしてきている。また、2年生から「おにぎりパーティー」に招待され、お米を作っておいしく味わうことや、自分たちも育てて1年生に食べさせたいという思いや願いをもっている。しかし、野菜との関わりはまだ浅いのが現状である。野菜との関わりとして野菜を栽培している家庭は多いものの、実際に世話に関わっている子どもや、野菜の育ちを考えたり、主体的に野菜を育てたりという経験をしている子どもは少ない。

(2) 単元について

本単元は、学習指導要領の内容(7)を受けて構成する。育てたい野菜を栽培し、成長の様子を観察したり世話をしたりすることを通して、関心をもって野菜に働きかけることができる単元である。野菜も人間と同様に生命をもっていることや野菜の成長とそれを育てる自分の心の成長に気付くとともに、友達との関わりを大切にしながら自ら野菜に働きかけるようになることをねらっている。本単元は、収穫できる野菜づくりを展開する。野菜によって合う世話の仕方があることや、世話の仕方を自分なりに考えて工夫することで成長の違いを実感できる面白さがある。野菜を育てる過程で生まれてくるであろう「もっと大きくしたい・おいしくしたい」という思いによって、土・水・日照・肥料などの生育条件について「比べる・予測する・試行する・工夫する・表現する」という多様な活動が展開される。長期間の栽培を通して植物にあるそれぞれの特徴に気付いたり、変化していくことに気付く経験を積み重ねたりすることが期待できる単元である。このような単元の特質を踏まえ、本単元では**野菜の成長の様子に関心を持ち、生命の大切さやそれぞれの野菜の成長の違いに気付いていくという資質・能力**を育むことを目指す。より大きくおいしくなるよう試行錯誤しながら世話をし、繰り返し対象と関わっていく中で、気付きを深めていく子どもの姿を期待して本単元を設定した。

(3) 指導について

先述した資質・能力を育むために、**野菜の生育条件に着目し、成長を友達と比べたり、自分なりの考えをもって野菜に合った世話を試したりしながら、野菜の成長の様子や違いについて考えるという「見方・考え方」**を生かした学習活動を単元全体で位置付ける。単元の導入では、植えてみたい野菜の種や苗を観察する時間を十分に確保し、子どもが「自分も育てて食べてみたい」という思いや願いをもつことができるようにする。

野菜を育てる段階では、同じ野菜を植える友達同士で成長を見合ったり、一緒に世話をしたりすることができるように、同じ野菜グループでの活動を取り入れる。1年生での栽培活動を想起し、花と野菜の成長や世話の仕方を比較し関連付けて考える。また、自分と友達の野菜の成長を比べ、虫がついたり病気になったりなど思い通りに育たない原因を予想し、肥料を工夫したり、害虫駆除を試したりという活動を自分たちで展開することができるようにする。単元の展開では、野菜の世話の仕方や成長の違いを実感し、野菜に愛着をもてるように、それまでの活動をふり返って中間発表を行う。単元の終末では、自分の変容や成長を実感することができるように、毎日の観察やふり返りで書いてきた名人日記(観察日記)をもとにこれまでの活動をふり返る場を設ける。また、子どもの気付きを価値付け、気付いたことを「秋野菜を植えよう」の学習や自分のこれからの栽培活動にどのように生かしていけるのかを考える場を設ける。

3 単元の目標〈記号は本校の資質・能力表による〉

- (1) 野菜の育つ場所の変化や成長の様子に関心を持ち、野菜に合った世話の仕方があることに気付き、長期間にわたり野菜を栽培することができた自分の成長に気付くことができる。

(キ-5,コ-3)

- (2) 思いや願いをもって進んで野菜と関わり、諸感覚を使って自分の野菜を観察し、友達と情報交換、試行錯誤しながら世話を考え、成長の様子や育てる喜びについて表現することができる。 (カ-2)
- (3) 自分の野菜に愛着をもって心を寄せながら命を大切に育てることができる。 (キ-1・2)

4 単元の構想 (総時数 11 時間) ※「見方・考え方」を生かした学習活動

きれいにさいてね (1年) おいしく育てお米 (2年)			
時間	学習活動	教師の主な支援	評価 (本校の資質・能力との関連)
1	(1) 育てたい野菜について話し合い、野菜への思いをもつ。	・ 1年生のときの経験や3年生へのインタビューから育てたい野菜について話し合う場を設定する。	・ 野菜の成長について話し合い、進んで関わろうとしている。 (カ-2・キ-2)
学習課題 おいしい野菜になるように、育て方の工夫を見付けよう。			
2	(2) 育てたい様々な野菜の種と苗を調べて気付いたことを話し合い、野菜への思いを深める。	・ 様々な種や苗を実際に手に取り特徴を比べながら観察することで、育てたい野菜についての思いを深めることができるようにする。	・ 様々な野菜の種や苗を比較し、気付いたことについて話し合っている。 (キ-1・2)
3	(3) 育てる野菜を購入し、植え方をインタビューする。 ・ 病気に強い苗を選ぶよ。	・ 野菜の植え方や育て方の情報をより多くの人から得られるように、前もって購入店にインタビューの依頼をし、購入時に考えて選ぶことができるようにする。	・ 野菜へ愛着をもつことができるように植え方や育て方についてインタビューしている。 (キ-1・2)
4			
5	(4) 育てる野菜の苗を見て、気付いたことを話し合う。 ・ トマトは葉っぱもトマトの匂いがするよ。	・ 野菜の苗を植え、葉の形やにおい、触った感じなどについて、諸感覚を使って調べ、それぞれの野菜の特徴について、自分の気付きをさらに広げられるように友達と交流する時間を設ける。	・ 思いや願いをもち野菜の苗を植え、観察し気付いた特徴などについて話し合っている。 (カ-2, キ-1・2)
6			
7	(5) 成長の様子や世話の仕方について、中間発表をする。	・ 成長の様子や世話の仕方について様々な表現方法 (紙芝居・パンフレットなど) で中間発表を行うことで、他の野菜へも興味や愛着をもてるようにする。	・ 野菜の成長の様子や世話の仕方を比べ、野菜に合った世話の仕方があることに気付いている。 (キ-5)
8			
9	(6) おいしい野菜に育てるためのヒントを野菜の先生から聞いたり調べたりする。	・ おいしい野菜に育てるためのヒントを野菜の先生から聞くことで、野菜の世話の仕方を見直すことができるようにする。	・ 野菜を育てることに愛着をもち、自分の野菜の世話の仕方を見直している。 (キ-1)
10			
11	(7) 教えてもらったヒントをもとに野菜の世話をする。	・ 教えてもらった世話の仕方をそれぞれの野菜で考え、野菜ごとの世話の仕方を体験する。	・ 野菜への愛着をもって、世話をしている。 (キ-5, コ-3)
11	(8) 名人日記から野菜の成長と自分の成長についてまとめる。	・ 成長の喜びや気付いたことをまとめるときの助けとなるように、野菜の成長写真・名人日記の準備をする。	・ 野菜の成長と自分の成長を関連させまとめている。 (コ-3)

◎本単元で育む主な資質・能力
植物の成長の様子に関心をもち、生命の大切さやそれぞれの野菜の成長の違いに気付くことができる。(キ-5)

○本単元の学習活動で生かす主な「見方・考え方」
それぞれの野菜の生育条件に着目し、野菜に合った世話の仕方を試し、野菜の成長の様子や違いについて考える。

ぐんぐんそだておいしい野菜・秋 (2年) 種を植えよう (3年)

5 本時の実際 (7 / 11)

(1) ねらい

野菜の成長や栽培活動の工夫についての気づきや喜びを友達と伝え合うことを通して、それぞれの野菜の生育条件に着目し、野菜に合った世話があることについて考えることができる。 (キ-5)

(2) 展開

○省察を通して自律的に学習を進めるための支援

時間	学習活動 (・は予想される子どもの姿)	教師の支援 評価
3分	① 本時の学習のめあてを確認し、活動の見通しをもつ。 ・アサガオも野菜も日向が好きだから、日が当たるところに移動したよ。 ・どの野菜も葉が多くなってきたよ。	・前時までの野菜の観察を思い出し見通しをもって学習に臨むことができるように、本時の学習の流れを確かめる。 ・これまでの野菜の成長についての流れが分かるように、野菜グループごとの記録を掲示する。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 学習課題 野菜ニュースを伝え合い、野菜の世話について考えよう。 </div>		
5分	② 野菜ニュースの内容を確認する。 ・オクラの成長について気温が高いとよく育つことを知らせるよ。 ・キュウリはアサガオのようにつるをどんどん伸ばして成長するよ。	・それぞれの野菜の成長の特徴や世話の仕方について確かめ、他のグループに報告する内容を確認したり、発表の仕方を打ち合わせたりする時間を設ける。
30分	③ グループごとに、野菜の成長の特徴や世話の仕方について伝え合う。 ・トマトは葉や茎からトマトの匂いがするので、実際に匂いを嗅いでもらいたいな。 ・ナスは1番花の下のわき芽を摘み取ると大きく育ちます。1番花はこれです。 ・オクラは寒さに弱い野菜です、どの野菜よりも温度に気を付けて、世話をしているよ。	・野菜の成長の特徴やそれぞれの野菜に合った世話の仕方があることに着目した発表内容になるように、表現の仕方を工夫できるようにする。 ・それぞれの野菜の成長の流れが聞き手に分かるように、写真や実物を用意するように促す。 ・それぞれの野菜の成長で似ているところ・世話の仕方で違うところに着目して聞くことができるように、聞く際の視点(野菜の成長の流れ・肥料の与え方など)を確認する。 ○それぞれの野菜の特徴的な育ちと、適した世話の仕方に気付くことができるように、違うところや似ているところを比べる活動を通して、その気づきを言葉でまとめる場を設ける。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 野菜の成長や栽培活動の工夫についての気づきや喜びを友達と伝え合う活動を通して、それぞれの野菜の生育条件に着目し、野菜に合った世話の仕方があることについて考えている。 (カ-2) (学習シート、発表、発言) </div>		
7分	④ 本時の学習をふり返り、明日からの世話の仕方への見通しをもつ。 ・トマトグループの発表を聞いて、鳥に食べられないようにするキラキラの物を付ける工夫は、キュウリにも使えんと思いました。	・自分が育てる野菜の世話についての思いを明確にもつことができるように、必要に応じて野菜グループで相談する時間を設ける。 ○本時で生まれた気づきや思いを次の世話へつなげることができるように、これからの世話についての思いを書き表す時間を設定する。